

【プログラム4: 1枚の絵から考えよう!】

☆ねらい：場面絵を見ていろいろな想像をする活動を通して、特定の見方・考え方でなく、多様な見方・考え方があることに気付き、子育てについても多様な見方を大切にする。

《プログラムの概要》

キーワードの例	多様な見方・考え方
時間	20分
人数	何人でもできる。
活動形態	グループ（1グループの人数は3～4人）
準備物	○「場面絵」・・・2人に1枚、またはグループに1枚
主な活動	①絵を見て考える。 ②考えたことを出し合う。 ③話題になったことを全体に紹介する。
気を付けること	○「1人でいること＝いじめ」と決め付けないように配慮する。
まとめについて	○展開例に示しているポイントは、本プログラムにおける例である。進行役が自身の体験や経験から感じていることを付け加えたり、例示してあるポイントから取捨選択したりして参加者に伝えるようにする。 ○例示のポイントを押し付けないように心がける。 ○参加者に分かりやすい言葉で伝えるように心がける。
備考	○書く活動はないので、座談会形式でもできる。 ○特定の見方・考え方でなく、多様な見方・考え方をすることは、人権教育の視点からも大事なことである。 ○「親の学び」プログラム スマイル（小学生期）編、プログラム13「あなたはどうか考えますか？～1枚の絵から広がるイメージ～」の場面絵を用いることもできる。

【プログラム4：1枚の絵から考えよう！】 [20分]

時間	形態	講座の流れ
1分	全体	<p>1. ねらいを確認する。【1分】</p> <p>[キーワード] ○多様な見方・考え方</p>
16分	個人	<p>2. 場面絵を見て考える。【8分】</p> <p>(1) 自分で考える。〈3分〉</p> <p>①どんな場面なのか。</p> <p>②一人で遊んでいる女の子に何と云うか。</p> <p>③周りの子どもに何と云うか。</p>
	グループ	<p>(2) グループで出し合う。〈5分〉</p>
	全体	<p>3. グループで出た意見を紹介する。【8分】</p>
3分	全体	<p>4. まとめを話す。【3分】</p> <p>[ポイント]</p> <p>・一人で遊ぶことは決して悪いことではない。「みんな一緒にないといけない」という気持ちが強すぎると、子どもの本心に寄り添えないことも生じてくる場合がある。</p> <p>・子どもは一緒に遊びたいのに、みんなの中に入っていけない時は対応が必要である。</p> <p>・ある場面だけ見て親が判断するのではなく、子どもとしっかり話をすることが大事である。</p>

〔 活動 〕

〔 基本的な説明・問いかけ例 〕

〔 備考 〕

1. ねらいの
確認

○今日は、「多様な見方や考え方」をキーワードに講座を進めていきたいと思います。

・キーワードを提示する。

2. 場面絵を見て考える

○みなさん、この絵を見てください。どんな場面だと思いますか？（さし絵を配るタイミングは、この問いを言った後ぐらいが望ましい。人数が多い場合は、もっと早い段階で配付してもよい。）
（1～2名の参加者に言ってもらおう。）

・場面絵は2人に1枚用意したほうが考えやすい。

○そうですね。子どもたちが公園で遊んでいる場面ですね。
あなたの子どもさんがこの女の子（後ろを向いて1人で遊んでいる子）だったら、子どもに何と声をかけますか。
また、近くで遊んでいる子どもたちには、何と声をかけるとおもいますか。
声をかけないときは、どうすると思いますか。
まずは、1人で考えてください。
（しばらく待って（1分程度））
○今、考えていただいたことをグループの方に紹介してください。

・4歳児の特徴として、ひとり遊びを好むことを進行役は理解しておく。
・参加者の子どもの年齢が違う場合は、場面絵の子どもの年齢を4歳に設定して考えるようにする等の工夫を行う。

3. 感想等の紹介

○まだ話をしている途中だと思いますが、グループで出された意見や考えられたこと等を紹介してください。

(時間があればグループの意見を多く紹介する。)

○どうでしたか。いろいろな意見を聞いて参考になりましたか。

・接し方や声のかけ方には、幾通りもあることに気付いてもらうように、補足を加えたりする。

4. まとめ

○子どもが1人で遊ぶことは決して悪いことではありません。子どもの発達段階からみても4歳児の特徴としてひとり遊びを好むことが見られるようになります。「1人で遊ぶのはかわいそう」とか、「みんなと一緒にないといけない」という気持ちが強すぎると、子どもの本心に寄り添えないことも生じてくる場合もあります。

○子どもはみんなと一緒に遊びたいと思っているのに、みんなの中に入っていけない時は、対応が必要です。ある場面だけ見て、親が判断するのではなく、子どもとしっかり話をすることが大事です。

・子どもの年齢による発達段階を踏まえておくことが大事である。

